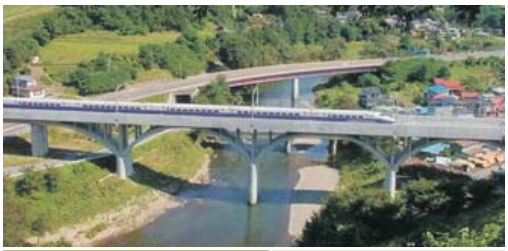
鉄道建設技術

橋りょう建設技術



東北新幹線 第３馬淵川橋りょう

5径間連続鉄筋コンクリートアーチ橋の採用により、優美な外観と周辺の景観との調和ができました。

九州新幹線 松原線路橋

鋼箱桁の複数連からなる合計21径間、総延長1,243mの国内最長の跨線橋です。

架設は送出し工法、回転工法を採用し、在来線直上を短時間で安全に実施できました。（土木学会　田中賞受賞）

成田新高速鉄道　印旛沼捷水路橋りょう

2径間連続の下路トラス橋です。下路トラスを連続化し軽量コンクリート床板を用いることで、橋りょうの軽量化とスリムな外観が実現し、周辺環境にやさしく調和させることができました。

東北新幹線 三内丸山架道橋

スパン長150mは新幹線橋りょうで最長であり、新幹線列車が安全･快適に通過できるように、長スパン化に伴うたわみの増大を抑制する工夫ができました。

（土木学会　田中賞、PC技術協会協会賞受賞）